

のびたファーム③

〈令和4年10月22日(土)〉

【目的】

児童に、野菜の植え付けから収穫、収穫物を使った制作活動を一連の流れで体験する機会を提供することで、農業に関する関心や理解を深める。また、期間を通して友達やスタッフと共に行動することにより、協調性・自主性や思いやりなどを養う。

【参加者】

小学生24人 ボランティアスタッフ10人

【プログラム内容】

9:30 受付	11:30 昼食
10:00 はじめのつどい	12:30 脱穀体験
10:20 稲架掛けの見学・さつまいもの収穫	14:30 おわりのつどい

「はじめのつどい・アイスブレイク」



参加者はボランティアスタッフとの会話や、簡単なゲームを通じて、次第に打ち解けていきました。

「稲架掛けの見学」



約1か月前に自分たちで刈り取って、天日と自然風によって乾燥させた稲を観察しました。「なぜ稲を乾燥させるのか」グループで考えました。

「さつまいもの収穫」



こども村の圃場でさつまいもの収穫を行いました。収穫後は、みんなで収穫の楽しさや喜びを分かち合いました。

「脱穀体験」



昔ながらの脱穀体験をしました。子どもたちは、千歯こきや土臼、唐箕を使い、稲から玄米を取りだし、精米するまでの工程を体験しました。

「おわりのつどい」



午前中に蒸かしたさつまいもの試食をしました。試食後は、名札代わりのウッドペンダントを作りました。